

9月の果実の見通し

令和2年8月31日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森 長野 岩手 など	5072	100%	5725	291	高い	279	514	10.1%	令和元年産の貯蔵ふじは残量が少なく、春先以降は近年にない高値で推移した。 2年産の新物りんごは厳しい暑さの中、若干着色遅れの産地もあるが、早場の産地からは例年どおり8月上旬から販売開始。 着果・肥大状況は各県とも目立った問題はなく、順調に入荷する見込み。量的な不足はないが、貯蔵りんごの品薄感が払しょくしきれず、相場は前年比高での展開が予想される。
日本なし類	栃木 茨城 千葉 など	9208	70%	9970	332	高い	276	40	0.4%	「幸水」は9月上旬で終了、「豊水」の出荷ピークは9月上中旬となる。各県の出荷量は4月の低温の影響で前年の7~5割、その他品種の出荷量も前年を下回る。引き合いが強く、単価高の見込み。 ※西洋なし(参考) 8月から「プレコース」「バートレット」、9月から「オーロラ」「マルゲリットマリーラ」等の販売が始まる。出荷量は前年並み~やや減の見込み。
ぶどう類	長野 山梨 岡山 など	4252	95%	4679	1238	高い~平 年並み	994	384	9.0%	黒系品種中心のなかで、9月は白系(シャインマスカット等)の比率が高まる。「シャイン」の生産量は、各産地とも前年と比較して増加傾向にある。 「シャイン」に続いて「種なしピオーネ」「種なし巨峰」が出回る。出荷ピークは、山梨県産が上中旬、長野県産が中旬、岡山県産が中下旬と続く。 気温が高いため若干色づきが遅れる産地も出てくる見込み。単価は高水準だった前年並みからやや高い見込み。
もも類	福島 山形 など	1676	80%	1584 ※3ヶ年 平均	507	高い	477 ※3ヶ年 平均	484	28.9%	出荷終盤を迎え、中旬まではある程度まとまった量が出てくるが、下旬からは一気に減少する。出荷量の多い産地は福島県、山形県、新潟県で各県とも晩生種の販売。「ゆうぞら」以外は大玉中心。 長野県産は中旬で終了の見込み。「川中島」以降の出荷量が少なく、早めに切り上がる見込み。 相場は品薄感から前年に比べて強めの展開が予想される。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)